シカモア日本語教室　梓組（あずさぐみ）　名前

宿題たしかめ表

2月24日～3月2日

お家の人のサイン		今　週　の　宿　題
	1	音読　　P119～P149
	2	まとめ漢字書きテスト練習④
	3	まとめ漢字読みテスト練習①
	4	たしかめプリント・宿題プリント
	5	「初雪のふる日」意味調べプリント
	6	言葉プリント（つなぐ言葉⑤・音や様子を表す言葉⑤・こそあど言葉④・修飾語④）
	7	クロスワードことわざ慣用句㊼
	8	短作文「今年度の三大出来事二」
	9	2月の一言日記を終えて提出する。
	10	3月の一言日記を始める。
	11	ウエブサイトを見て「ビリーヴ」を歌う。
	12	毎日の出来事を家の人と日本語で話し合う。

音読カード　きのうより上手に読めたかな

よくできた　◎　　できた　○　　もうすこし　△

読んだところ　　（初雪のふる日・学習を広げよう）

よ　む　め　あ　て	金	土	日	月	火	水	木
①　しせい正しく							
②　大きな声ではっきりと							
③　句読点で区切ってゆっくりと							
④　正しくまちがえないで							
⑤　内容がわかる							
お　家　の　人　の　サ　イ　ン							

まとめ漢字テスト練習④

梓組

読み方を書こう

漢字を練習しよう

❶	松	
❷	倉庫	
❸	気候	
❹	卒業	
❺	前兆	
❻	小説	
❼	半径	
❽	白衣	
❾	園芸	
❿	右折	
⓫	名案	
⓬	未満	
⓭	固定	
⓮	鹿児島	
⓯	海水浴	
⓰	富む	
⓱	願う	
⓲	努める	
⓳	加える	
⓴	改める	

©SycamoreNIN

まとめ読みテスト練習 ①

梓組

1. 梅 （　　）
2. 鏡 （　　）
3. 松 （　　）
4. 紙の束 （　　）
5. 草の芽 （　　）
6. 鳥の巣 （　　）
7. ご飯 （　　）
8. 種まき （　　）
9. 安静 （　　）
10. 以前 （　　）
11. 茨城 （　　）
12. 衣類 （　　）
13. 印刷 （　　）
14. 英語 （　　）
15. 愛媛 （　　）
16. 園芸 （　　）
17. 塩分 （　　）
18. 大阪 （　　）
19. 岡山 （　　）
20. 沖縄 （　　）
21. 害虫 （　　）
22. 海底 （　　）
23. 街灯 （　　）
24. 香川 （　　）
25. 各自 （　　）
26. 課題 （　　）
27. 貨物 （　　）
28. 感覚 （　　）
29. 完結 （　　）
30. 観察 （　　）
31. 管理 （　　）
32. 機械 （　　）
33. 気候 （　　）
34. 季節 （　　）
35. 岐阜 （　　）
36. 希望 （　　）
37. 客席 （　　）
38. 給料 （　　）
39. 器用 （　　）
40. 教訓 （　　）
41. 競争 （　　）
42. 協調 （　　）
43. 共通 （　　）
44. 漁業 （　　）
45. 熊本 （　　）
46. 軍手 （　　）
47. 郡部 （　　）
48. 群馬 （　　）
49. 健康 （　　）
50. 校旗 （　　）
51. 光景 （　　）
52. 高低 （　　）
53. 固体 （　　）
54. 埼玉 （　　）
55. 材木 （　　）
56. 佐賀 （　　）
57. 昨年 （　　）
58. 参加 （　　）
59. 散歩 （　　）
60. 滋賀 （　　）
61. 司会 （　　）
62. 自然 （　　）
63. 子孫 （　　）
64. 実験 （　　）
65. 失敗 （　　）
66. 辞典 （　　）
67. 氏名 （　　）
68. 借用 （　　）
69. 車輪 （　　）
70. 住民 （　　）
71. 祝日 （　　）
72. 信号 （　　）
73. 成功 （　　）
74. 清書 （　　）
75. 生徒 （　　）
76. 選挙 （　　）
77. 倉庫 （　　）
78. 側面 （　　）
79. 卒業 （　　）
80. 大臣 （　　）
81. 単位 （　　）
82. 伝言 （　　）
83. 投票 （　　）
84. 徳島 （　　）

©SycamoreNIN

宿題 たしかめ プリント

梓組

1 □に当てはまる漢字を書きましょう。

(1) □たい飲み物。（つめ）

(2) 新説を□える。（とな）

(3) □な地方に住む。（かんれい）

(4) □を練習する。（がっしょう）

2 □の漢字を組みあわせて、二字の熟語（じゅく）を三つ作りましょう。

□□

□□

□□

世　係　想　関　界　感

3 次の（　）に当てはまるものを□から選んで、書きましょう。

(1) 池の水は（　　）にごっていた。

(2) 熊のすがたを見て（　　）した。

(3) 話しながら（　　）なみだを流した。

(4) 森の中は（　　）静まり返っていた。

(5) かえるが（　　）とびはねた。

ひっそりと　ぴょんと　どんよりと

ほろほろと　どきっと

©SycamoreNIN

宿題プリント

梓組

① 次の文章を読んで、問題に答えましょう。

秋の終わりの寒い日でした。

村の一本道に、小さな女の子がしゃがんでいました。女の子は、うつむいて地面をながめていました。それから、首をかしげて、ほうっと大きな息をつくと、

「だれが、石けりしたんだろう。」

とつぶやきました。その道には、ろうせきでかかれた石けりの輪が、どこまでも続いていたのです。どこまでも、どこまでも、橋をわたって、山の方まで。女の子は立ち上がって、目を真ん丸にして、

「なあんて長い石けり。」

とさけびました。それから、ろうせきの輪の中に、ぴょんと飛びこんでみました。すると、女の子の体は軽くなって、ゴムまりみたいにはずんできたのです。

かた足、かた足、両足、かた足――。

両手をポケットに入れて、女の子は進んでゆきました。石けりをしながら、女の子は橋をわたりました。キャベツ畑の細い道を通りました。村でたった一けんの、たばこ屋の前を通りました。

「おや、元気がいいねえ。」

と、店番のおばあさんが言いました。女の子は、あらい息をしながら、とくいそうに笑いました。おかし屋の前では、大きな犬が歯をむき出してほえました。それでも、女の子は進んでゆきました。石けりの輪は、まだまだ続いていたのです。

〈安房（あわ） 直子（なおこ）「初雪のふる日」より〉

(1) 一年のうちの、いつの季節の話ですか。それが分かる一文の、初めの五字をぬき出しましょう。

(2) 「だれが、石けりしたんだろう。」とありますが、女の子がそう思ったのはなぜですか。

(3) ろうせきの輪の中に入ると、女の子の体は、どのようになりましたか。

(4) 寒い日だということが分かる女の子のしぐさを文章中から見つけて、十一字でぬき出しましょう。

(5) 「とくいそうに笑いました」とありますが、女の子は何がとくいだったのですか。次の□に合う言葉を書きましょう。

石けりをしながら□に、長いきょりを進んできたこと。

② 次の□に合う漢字を書きましょう。

① □（つめ）たい風がふく。　② 平和を□（となな）える。

③ 次の文章を読んで、問題に答えましょう。

ふりしきる雪の中を、もう後から後から、白いうさぎが続いてくるのでした。女の子はびっくりして、目をぱちぱちさせました。すると、今度は前で声がしました。

「後ろから来るのは白うさぎ、前をゆくのも白うさぎ、かた足、両足、とんとんとん。」

あわてて前を見ると、女の子の前を、やっぱりたくさんのうさぎが、一列になってとんでゆくのでした。

「うわあ、ちっとも知らなかった。」

女の子は、ゆめを見ているような気がしました。

「ねえ、どこへ行くの。この石けりの輪、どこまで続いているの。」

すると、前のうさぎが とびながら答えました。

「どこまでも、どこまでも、世界の果てまで。わたしたちみんな、雪をふらせる雪うさぎですからね。」

〈安房（あわ）直子（なおこ）「初雪のふる日」より〉

(1) 「びっくりして」とありますが、女の子はどんなことにびっくりしたのですか。

（　　）

(2) 「あわてて前を見ると、女の子の前を、やっぱりたくさんのうさぎが、一列になってとんでゆくのでした。」とありますが、そのとき、女の子はどんな気がしましたか。

（　　）

(3) ①石けりの輪は、どこまで続いていますか。また、②うさぎたちの正体は何ですか。

① （　　）

② （　　）

④ 次の文章を読んで、問題に答えましょう。

教下 129ページ4行〜130ページ10行

女の子の手足はかじかんで、もう氷のようになりました。ほほは青ざめ、くちびるはふるえていました。

「おばあちゃん、助けて――。」女の子は、心の中でさけびました。

このときです。たった今 かた足を入れた輪の中に、女の子は、一まいの葉を見つけたのです。思わず拾い上げると、それは、よもぎの葉でした。あざやかな緑の、そして、うら側には白い毛のふっくりと付いた、やさしいよもぎの葉でした。

「うわあ、だれが。だれが、落としてくれたの。」女の子は、よもぎの葉を、そっとむねに当ててみました。

すると、女の子は、だれかにはげまされているような気がしてきました。たくさんの小さなものたちが、声をそろえて、がんばれがんばれと言っているように思えてきました。

そうです。それは、雪の下にいる、たくさんの草の種の声でした。今、土の中でじっと寒さにたえている草の種のいぶきが、一まいの葉を通して、女の子のむねに伝わってきたのでした。

「がんばれ、がんばれ。」

このとき、女の子の頭に、ふっとすてきな なぞなぞがうかびました。女の子は目をつぶって、大きく息をつくと、

「よもぎの葉っぱのうら側は、どうしてこんなに白いのかしら。」

とさけびました。

〈安房(あわ) 直子(なおこ)「初雪のふる日」より〉

(1) 女の子がつかれはてている様子が、どのようにえがかれていますか。次の（　）に当てはまる言葉を、文章中からぬき出しましょう。

手足はかじかんで、（　　）になり、ほほは（　　）、くちびるはふるえていた。

(2) 女の子が「たった今 かた足を入れた輪の中に」見つけたのはなんですか。文章中から五字でぬき出しましょう。

[　　]

(3) 「だれかにはげまされているような気がしてきました」とありますが、だれにはげまされていたのですか。

（　　）

(4) 「いぶき」の意味としてよいものを次から一つ選んで、○を付けましょう。

ア（　　）生きている気配。

イ（　　）寒いときにふく風。

ウ（　　）ねむっているときの息。

(5) 「すてきな なぞなぞ」は、どんなものですか。文章中から見つけて、〰〰線を付けましょう。

初雪のふる日　意味調べ

名前

＊国語辞典を使って意味を調べましょう。

うつむく	
どんより	
さらう	
唱える	
つむじ風	
ひっそり	
つりこまれる	
かじかむ	
いぶき	
よろける	
ほんのり	
見合わせる	

©SycamoreNIN

言葉

つなぐ言葉 5

名前

■次の文を、――線の言葉に気をつけて、二つの文に分けましょう。

(1) セーターを着たけれど、まだ寒い。

(2) 天気がよかったから、ふとんを干した。

(3) 遊園地に行きたいし、動物園にも行きたい。

(4) 晩ご飯はカレーライスだったので、三ばいおかわりをした。

(5) けんたさんはいつもにこにこしているし、だれにでも親切だ。

(6) 発売日に店に行ったのに、ほしかった本はすでに売り切れていた。

©SycamoreNIN

言葉

音や様子を表す言葉 5

名前

■次の文の□にあてはまる言葉を、□から選んで書きましょう。

(1) 野球場からたくさんの観客が□出てきた。

(2) 暑くてのどが□だから、水を飲もう。

(3) 父は何十年も使って□のかばんを大切にしている。

(4) 急に雨が降ってきたので、□にぬれてしまった。

(5) ずっとのばしていたかみの毛を□切った。

(6) たきたてで□のご飯を食べる。

(7) かぜをひいたらしく、頭が□いたむ。

びしょびしょ　ぼろぼろ　ぞろぞろ　ばっさり
ほかほか　ずきずき　からから

©SycamoreNIN

言葉

こそあど言葉 4

名　前

■次の文の――線部のこそあど言葉が指している部分を書きぬきましょう。

(1) サンドイッチとからあげ、ぼくのお弁当にはこれが欠かせない。

(2) 友達が私を呼びに来た。そのとき私は夢中でマンガを読んでいた。

(3) 外は大雨で風も強い。こんな天気の日に出かけるのはゆううつだ。

(4) 向かいに五階建ての白いビルがありますね。ピアノ教室は、あそこの三階ですよ。

(5) シュークリームよりはプリンが好きなので、ぼくはそっちを食べることにした。

(6) 姉は確かにそう言った。「将来はうちゅう飛行士になりたい。」と。

(7) 父がとなりの部屋を指さして、「あちらへ行っておきなさい。」と言った。

©SycamoreNIN

文法

修飾語 4

名前

■次の文の〰線の言葉をくわしくしている修飾語に、——線を引きましょう。

(1) 犬が　ワンワンと　鳴く。

(2) おばあさんが　ゆっくり　歩く。

(3) 先生が　眼鏡を　かける。

(4) やまとさんの　後ろに　ならぶ。

(5) ポストに　友達への　手紙を　出す。

(6) 花だんに　チューリップの　球根を　植える。

(7) 父が　黒い　くつを　はく。

(8) 本の　最初の　ページを　開く。

(9) バタンと　部屋の　ドアを　閉める。

(10) いすの　上に　あるのは　みきさんの　ぼうしです。

©SycamoreNIN

47 「立つ」がつくことわざ・慣用句

問題の答えを□に書こう。「立つ」が入った言葉だよ。

たてのカギ

1 だれか人の目にとまることを「○○○に立つ」という。「○○○につく」ともいう。

2 おりたたみがさは、急に雨がふり出したときに「○○○○○」ね。

3 はげしくおこることを「頭から○○を立てる」という。○○は、お湯をわかしたときにあらわれるもの。

4 有名になることを「○○○○」という。「ながたつ」と「せにたつ」のどちら？

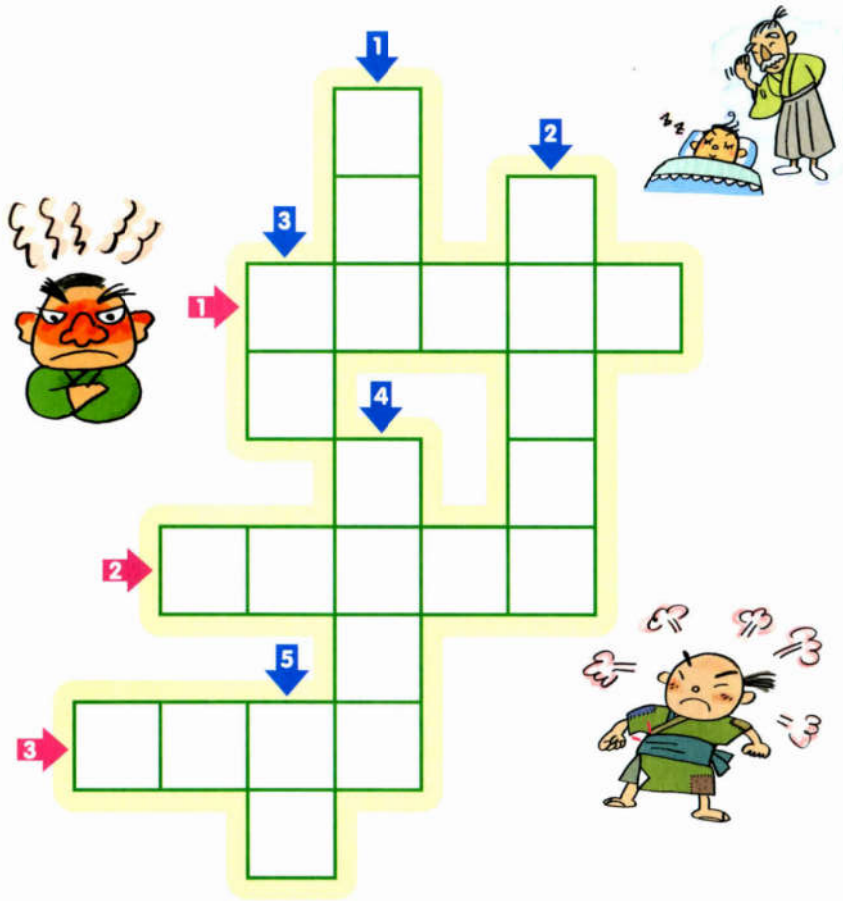
5 他人とのかん係が、ぎくしゃくすることを「○○が立つ」という。たんすの○○に足をぶつけると、いたいね。

よこのカギ

1 死んだ人などがゆめに出てくることを、ねむっている人のまくら元に立つという意味で「○○○○○に立つ」という。

2 兄に、自分の分のおかしを食べられて「○○○○○」。「まえにたつ」と「はらがたつ」のどちら？

3 ○○○○できるように、お金をかせぐことを「くらしを立てる」という。「せいかつ」と「せいかい」のどちら？



©SycamoreNIN

今年度の三大出来事二　二月二十四日～

梓組　名前

今年度一年間をふり返って、心に残ったことを、三つ選んでみよう。（先週と同じ事を書く）

「わたしの三大出来事」

一、

二、

三、

先生より一言

日本には「一月はいく。二月はにげる。三月はさる。」ということわざがあります。一・二・三月は特に時間がたつのが早く感じられるという意味なのですが、それはわたし達にもあてはまっていますね。

さて、今年度も残すところ授業日はあと二日のみとなりました。国語四の上下の教科書で習った二百二字の漢字の読みと書き、それを使った熟語など、忘れないための工夫をしていきましょう。

今週は「わたしの三大出来事」の二番目についての短作文です。行を全部使って書いてください。上には先週と同じ事を書きます。

二、

二の出来事について短い作文を書こう。

シカモア日本語教室　©SycamoreNIN

三月の一言日記

三月中の一か月をあとでふり返るため、毎日の記録をのこしておきましょう。
その日の出来事・心にのこったこと などを短くまとめましょう。俳句もいいですね。

日付	一言日記
3/1	
3/2	
3/3	
3/4	
3/5	
3/6	
3/7	
3/8	
3/9	
3/10	
3/11	
3/12	
3/13	
3/14	
3/15	
3/16	

	一言日記
3/17	
3/18	
3/19	
3/20	
3/21	
3/22	
3/23	
3/24	
3/25	
3/26	
3/27	
3/28	
3/29	
3/30	
3/31	

©SycamoreNIN